

平成20年1月17日

各位

東京都千代田区永田町二丁目11番1号
パシフィックマネジメント株式会社
代表取締役社長 高塚 優
(コード番号: 8902 東証第一部)
問い合わせ先 経営企画本部担当取締役
香本 育良
TEL 03 (5251) 8525

賃貸マンション『パシフィックレジデンス』新ブランドシンボルマーク導入

パシフィックマネジメント株式会社は、このほど、当社グループで不動産投資ファンド運用をするレジデンシャルプロダクトブランド「パシフィックレジデンス」シリーズのブランドマークを新たに導入し、広告、看板、掲示物などで統一して使用していくことを決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 「パシフィックレジデンス」について

「パシフィックレジデンス」シリーズは、東京都心部を中心に東京近郊および全国の政令指定都市で展開する賃貸マンションであり、現在110棟(8,165戸、1月16日現在)を運営、本年6月に10,000戸を超え125棟となる予定となっています。比較的所得が高くかつ都心部に勤務し、交通利便性に価値観をおく会社員、経営者、専門職等を主要ターゲットとして、都心での合理的で感性あふれるライフスタイルを提唱してまいります。

運営形態として不動産投資信託の仕組みを活用することで、国内でこれまでにない物件数での単一ブランドでかつ同一の資産運用母体^{*1}としての賃貸マンション^{*2}を安定的に展開することを可能にしています。物件数が豊富にあることで、顧客の多様なライフスタイルニーズやエリア志向に応じていくことができるものと考えています。

現在、物件の多くを当社グループ会社であるパシフィック・インベストメント・アドバイザーズ株式会社にて運用受託しているJ-REIT「日本レジデンシャル投資法人」の資産ポートフォリオの一部として保有されているほか、同じく当社グループで運用するプライベートファンドなどにも組入れられています。

なお同シリーズには、タワー型マンションとして「パシフィックタワー」やシングル向けを中心にした「パシフィックリビュー」のブランドラインナップ^{*3}があります。

2. 新シンボルマークについて

新シンボルは、「パシフィックレジデンス」の頭文字であるPとRをモチーフにしています。柔らかい曲線は、自由さとダイナミズム、パシフィックレジデンスブランドが提供していこうとする柔軟なライフスタイルを表現しています。



新シンボルおよびロゴの基本デザイン

3. 今後のブランド戦略の概要

「あえて買わない」、都心での合理的なライフスタイルをテーマに



新シンボルマークの簡易広告物展開例

(パシフィックタワー中目黒とCG合成でイメージ)

日本では持家志向が根強くある一方で、選択的に借りて住み続けようとする「賃貸派」も都心部を中心に拡大してきています。しかしながら、ニーズを満たすような良質な賃貸住宅の量的な不足と、要望を満たす物件を選別するための流通の仕組みの不足があり、個人の志向とは異なる選択を余儀なくされている状況は未だ大きく変わっていません。それらを鑑みて、信頼されるブランドとして広く認知されるような賃貸マンションを供給することで、ブランドが選択要因のひとつとなって、顧客の自由な選択行動をサポートするようにできると考えました。そういった自由で合理的な価値観を、「Sense with Logic.」というブランドコンセプトにこめて、より一層の商品、サービスの充実を図っていく予定です。

今後は、テレビCMやブランドホームページの開設、マンションに入居する方を対象としたメンバーシッププログラムの導入などをはじめとしたマーケティング投資を戦略的に実施し、広く消費者に支持されるような賃貸マンションブランドを目指してまいります。

- ※1 「パシフィックレジデンス」ブランドのマンションは、パシフィックマネジメントグループ会社が投資顧問委託を受けて運用する不動産ファンドの運用資産（その予定とされている場合も含む）として組み入れられています。
- ※2 分譲マンションとして供給され、その購入者が賃貸する場合のいわゆる「分譲賃貸マンション」を除きます。
- ※3 「パシフィックレジデンス」、「パシフィックタワー」および「パシフィックレビュー」は、パシフィックマネジメント株式会社による登録商標です。

以 上